

PIOLINKのTiFRONTセキュリティスイッチにて実現できること

- 設置することでサイバー攻撃を拡散させない環境を構築することが可能
 - ・マルウェアやランサムウェアなどの脅威にさらされた端末が配信する通信を監視し、検知すると即座にネットワークから隔離して拡散を防止します。それにより、被害の拡大を防止します。
- セキュリティ機能を活用して有害トラフィックを選択的に遮断し、ネットワークアクセス制御が導入可能
 - ・ネットワーク上の端末を一括管理できるTiNDMで収集した端末情報を活用し、IPアドレスやMACアドレスベースのホワイトリスト制御に対応が可能です。

PIOLINKのTiFRONTセキュリティスイッチのお勧め点

- クラウド管理型で一元管理が可能のため、遠隔管理や一括管理にて効率的に管理が可能
 - ・社内導入ツール自体の管理・運用も効率化が実現可能です。
 - ・セキュリティとMDM、それぞれ別に利用料支払いしていたものが一本化され契約管理、更新対応が効率化、かつ安価のため経費の削減が可能です。
 - ・従業員のデバイス登録、入社・退職・人事異動処理等での発生業務が一元化され、管理運用人件費削減にもつなげることが可能です。
- ゼロタッチインストールにより、設置設定が容易
 - ・社内のセキュリティとMDMの管理がひとつの管理者用画面内で実施することが可能です。
 - ・管理画面が統合されることで、効率的に一元管理・運用が可能です。
 - ・画面がシンプル、操作が簡単で誰でも容易な製品設計となっています。
- サイバー攻撃を防ぐ新感覚のセキュリティスイッチとしてお勧め
 - ・「使わない過剰な機能は不要」といった多くの中小法人向けに必要な機能のみを簡単にわかりやすく利用できるようになっています。